

平成 30 年 11 月 2 日

岸和田市長 永野 耕平 様

岸和田市公共施設
マネジメント検討委員会
委員長 足立 啓

岸和田市公共施設最適化計画の推進について（答申）

平成 28 年 11 月 15 日付けで貴職から諮問のあった標記の件について、本審議会において慎重に審議を行いました。前例に捉われず岸和田らしさを踏まえた公共施設の再配置を通して、市民の幸せが将来にわたり持続可能となるため、以下のとおり答申し、『岸和田市公共施設最適化計画』を具体化するため、「個別施設計画」の策定を求めます。

《 答 申 》

I 公共施設の最適化を目指した再配置検討について

公共施設の再配置は喫緊に取り組まなければならない重要課題であり、経済的・物理的な制約の中で、目的（市民ニーズの充足）を実現するための最適な手段（施設の維持管理）で実施する必要があります。

- 計画の進行管理を受け庁内での推進を強化すること
庁内合意プロセスの明確化が必要です。課題や思考ステップを可視化し、客観的データの活用により施設所管課との協議に臨むことを求めます。
- 地区別再配置シミュレーションを踏まえること
シミュレーションは問題の難易度・専門性が高く、導ける解の自由度が高いため、まずは行政がリードして発案し、地区に出向いて意見聴取することが

有効です。また、地域の事情等の変化により、実態に合わせ見直すことが必要です。

- 市民参加の目的を明確にすること

最終決定はあくまで行政ですが、市民のまちづくりへの主体的な参加により得た意見等は、市民の納得を得るための参考とすることを明確にすべきです。

Ⅱ 公共施設の適正な保全の取り組みについて

個別施設単位での改修・更新事業費、維持管理費、修繕費、運営費等のコスト試算を精査し、持続可能な施設管理を目指すため、長期的コストの圧縮を行う必要があります。

- 適正な保全・長寿命化を担保するための予算配分に努めること

施設の全庁的な優先順位を付け、真に必要な工事部分を判断し、それを予算化できるような仕組みづくりを速やかに構築することを求めます。

- 老朽化により安全面が担保できない施設は統廃合、廃止の検討を行うこと

公共施設再配置の考え方の中で、公共施設は地域の安全安心を守る重要な役割を担っており、老朽化が著しく進み安全が担保できない施設については複合化や統廃合を考えることを求めます。

以上